



「エンジョイベースボール 積極的に自分の力を出し切る」

## 毛呂山ウイングス

今年で25周年を迎えた毛呂山ウイングス。参加した各種の少年野球大会では、実力を十分に発揮し、よい成績を残しています。17人の団員は、全力プレーを主眼に日々練習に励んでいます。

毛呂山ウイングスのモットーはエンジンジョイベースボール。まずは、子どもたちが野球を楽しむということ。しかし、野球を楽しく行うだけでは、満足のいくプレーはできません。自分の力を最大限に発揮してこそ納得できるのです。子どもたちは無限の可能性を秘めています。

団では、自分の力を精一杯出し切るうとする気持ちを大切にしています。また、個々の能力に合わせたアドバイスで個性を伸ばすよう心がけています。そうすることで、自分か



ら考え行動する積極性が生まれてきます。野球以外のことでも最後まで努力する気持ち

備わっています。さらに、団ではチームプレーによる協調性を育て、あいさつや道具の大切さを伝え、人として成長することをめざしています。



また、親子でも楽しめるのが当団の魅力です。デイズニードへの団旅行、プロ野球観戦、夏合宿、バーベキューなど様々なイベントを企画、実施しています。とくに親子で一緒に楽しむ、野球やパン食い競争を取り入れた親子大会は、たいへん盛り上がりがあります。野球を楽しみたい人は、光山小学校グラウンドに集まって、一緒に練習しましょう!!

**練習日** 土・日・祝日の午前8時～  
**正午**  
**場所** 光山小学校グラウンド  
**会費** 年会費2万4000円  
**問合せ** 毛呂山ウイングス ☎0990-407012206 神田

## 毛呂山歴史散歩 文化財シリーズ228 おっぱ 越辺川と原始古代の営み

おっぱ

越辺川は外秩父山地に源を発し、越生町、毛呂山町、鳩山町、坂戸市などを経て、川島町で入間川に合流します。江戸時代の絵図には、現在の鳩山町石坂から上流を「おごせ川」、下流を「おっぺ川」と記しているものもあり、同じ流域でも使っていた様子が見られます。

原始古代の人びとは、川がもたらす恵みを受け、生活を営んでいたと考えられています。毛呂山町の北東部を流れる越辺川流域でも、縄文時代から古墳時代、奈良平安時代の集落が形成されていたことが発掘調査の成果から明らかになってきました。とくに越辺川を南に臨む西戸地内松の外遺跡は、今から6000年以上前の縄文時代前期から奈良平安時代までの住居跡が発見され、



松の外遺跡出土の縄文土器

古墳時代には、十数基の古墳がまわって築造されていました。前久保地内岡本団地にほど近い白綾遺跡は、大谷木川と越辺川の合流地点に張り出している台地の先端に営まれた縄文時代の集落跡です。これまでに今から4000年ほど前の住居跡が多数発見され、大量の縄文土器が出土しています。白綾遺跡で出土した縄文土器の量は、葛貫地内の新田東遺跡と並んで群を抜いており、町内屈指の大集落だったと考えられています。出土した縄文土器の中には造形美に優れた資料が多数あります。



白綾遺跡出土の縄文土器

狩猟採集中心といわれる華やかな縄文文化から弥生時代の稲作文化になると様子は一変し、毛呂山町域に限らず、越辺川上流、中流域では、人びとの生活の痕跡がほとんど見当たらないという独特の歴史をたどります。

3月16日(土)から越辺川流域1市3町合同による企画展「越辺川流域の歴史と文化」を開催します。毛呂山町歴史民俗資料館を皮切りに4つの市町を巡回する本展示会では、旧石器時代から古墳時代までの越辺川文化圏の様子を紹介します。